

整理番号	25-1	事務事業名	共栄南1号線道路改築事業	作成部署	建設部土木課	電話	内線746
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 齊藤順二	課長職名	深尾 壮	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H15	根拠法令等	道路法				
〃 終了予定年度	H19						
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	沿線の福祉施設入所者の通行の安全を確保するとともに、札幌恵庭自転車道線と市道との平面交差箇所の解消を図るため。						

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第5章)
	節	道路と交通	(第3節)
	施策	市内幹線道路・生活道路等の整備	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	福祉施設入所者および札幌恵庭自転車道の利用者。	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	沿線の福祉施設入所者等の安全な通行を確保するとともに、自転車道と市道との平面交差を解消することにより、自転車道利用者の安全な通行を確保する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	現況測量・実施設計・用地確定測量(延長)L=450m 道路改良・舗装工(延長)L=234m(幅員)車道W=5.50m+片歩道W=2.50m
		17年度	道路改良・舗装工(延長)L=140m(幅員)車道W=5.50m+片歩道W=2.50m

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金		22,800	18,000	12,000
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	5,565	15,200	12,000	11,000
	合計	5,565	38,000	30,000	23,000
人件費(概算)	人数(年間)		0.30	0.30	0.30
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	0	2,700	2,700	2,700
総事業費 +		5,565	40,700	32,700	25,700

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	現況測量・実施設計	450m			
	用地確定測量	450m			
	道路改良・舗装工		234m	140m	44m
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	道路整備率		52%	83%	93%
	(整備済延長/全体延長)		(234m/450m)	(374m/450m)	(418m/450m)
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	道路整備1m当たり		174千円	234千円	584千円
	(総事業費÷整備延長)		(40700千円/234m)	(32700千円/140m)	(25700千円/44m)

**3 評価(チェック)と改善(アクション)**

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等 沿線の福祉施設入所者の通行の安全性が求められており、また平成16年度に札幌恵庭自転車道線の北広島～札幌間が開通したことにより、自転車道の安全な走行が求められている。更に、将来は広島総合運動公園のアクセス道路として利用されることが見込まれる。

**【妥当性の評価と改善の方法等】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市道整備であるため、市で施工するのが妥当。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	福祉施設入所者および自転車道利用者等の通行の安全が確保される。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	目的を達成する手段としては適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	受益者負担はなじまない。	

**【有効性と効率性の評価と改善の方法】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	現段階では一部区間が完成した状況であり、公園通線まで全線完成した時点で成果としてあらわれる。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	事業実施にあたっては、十分にコスト削減を考慮して設計を行っている。	

**【事務事業担当部局内優先度】**

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A          B          C

**4 総合判定と今後の方向性**

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	将来的には運動公園のアクセス道路として利用でき、計画どおり実施する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	自転車道と市道との平面交差を解消し、安全な通行を確保するためにも計画どおり実施する。